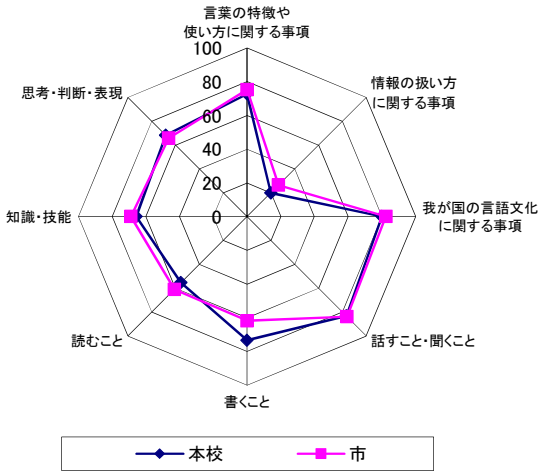
宇都宮市立桜小学校 第６学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	72.7	75.3	77.1
	情報の扱い方に関する事項	20.0	26.5	27.8
	我が国の言語文化に関する事項	80.0	82.4	81.0
	話すこと・聞くこと	83.3	83.9	84.2
	書くこと	73.3	61.7	64.5
	読むこと	55.4	60.9	61.0
観点別	知識・技能	65.7	68.8	70.3
	思考・判断・表現	68.2	65.8	67.0

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	○2段階構成で文章を書く問題では，正答率が市の平均を18ポイント上回った。 ●第5・6学年に配当されている漢字を答える問題では，正答率が市の平均を下回った。 ●敬語についての問題では，正答率が市の平均を大きく下回った。	・既習漢字をもう一度確認し，しっかりと漢字を書いたり，読んだりすることができるようにする。継続して学習に取り組む習慣を身に付けさせたい。
情報の扱い方に関する事項	●情報と情報の関係性を理解し，文章の情報を整理したり，目的に応じて簡単な文章を書いたりする問題では，正答率が市の平均を約5～8ポイント下回った。	・国語の学習だけでなく，他教科でも資料を活用した調べ学習において，調べて分かったこと等を自分の言葉でまとめ発表する機会をさらに増やしていく。
我が国の言語文化に関する事項	●和語・漢語・外来語について分類する問題では，正答率が市の平均を2.4ポイント下回った。	・和語・漢語・外来語について改めて整理し，さまざまな言葉をグルーピングしながら，理解が深まるようにしていく。
話すこと・聞くこと	●インタビューを聞き，話の内容を捉えたり，質問の仕方の工夫について理解したりする問題では，正答率が市の平均を2.4ポイント下回った。 ○インタビュー内容を他者に報告するという意図に応じて，話をまとめる問題では，正答率が市の平均を6.1ポイント上回った。	・国語の学習だけでなく，日常生活から的確に話の要旨をつかむことができるように指導していく。また，学級活動での話合い活動等でも互いの立場を明確にして進めることができるように指導していく。
書くこと	○文章を書くことについての問題では，正答率が市の平均を上回っているものが多かった。特に，指定された長さで文章を書いたり，自分の意見とその理由を明確にして書いたりする設問では，正答率が市の平均を大きく上回った。	・国語の学習だけではなく，他教科とも関連付けて，ポスター作成等の活動時に，読み手に自分の考えがきちんと伝わるようにするにはどうすればよいか意識するよう指導する。
読むこと	○物語文では，登場人物の様子について描写をもとに捉える設問で，市の平均を4ポイント上回った ●登場人物の心情を問う設問や，文章を読んでまとめた意見や感想を共有し，自分の考えを広げる設問において，正答率が市の平均を2.4ポイント下回った。 ●説明文では，文章全体の構成を捉えたり，情報と情報の関係について理解し整理したりする設問において，正答率が市の平均を約7～9ポイント下回った。	・物語文を読みながら，登場人物の描写だけでなく，そこから読み取れる心情について共有する時間を設けたり，感想を伝え合う時間を積極的に設けたりし，十分に物語を味わうことができるようにする。 ・学習への意識を高めるよう，課題提示の方法や学習の進め方を工夫して指導する。意識を高める学習の指導を工夫して行う。